

平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年 8月 8日

上場会社名 株式会社 バイテック (コード番号：9957 東証第2部)
 (URL <http://www.vitec.co.jp/>)

問合せ先 代表者役職名 取締役社長 氏名 白井 舜一 (TEL:(03) 3458 4611)
 責任者役職名 取締役 氏名 成瀬 達一

平成16年3月期第1四半期(平成15年4月1日から平成15年6月30日まで)における業績の概要について下記のとおりお知らせ致します。なお、当社は四半期財務情報を当期より作成しているため、前年同期についての記載は行っておりません。

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
 連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有
 (内容) 連結(新規)1社

2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況(平成15年4月1日～平成15年6月30日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注)金額は百万未満を切り捨てて表示しております。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第1四半期	27,499	287	235	77
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	101,055	1,042	524	3,246

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
16年3月期第1四半期	6 54	4 89
15年3月期第1四半期		
(参考)15年3月期	275 37	

〔経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期(平成15年4月～平成15年6月)におけるわが国経済は、期前半においては米国経済の減速や新型肺炎の影響などによる先行き不透明感から明るさが見られなかったものの、期後半においては緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、総じて個人消費、雇用は引き続き低調であり、厳しい状況でありました。

このような状況の中であって、当社が関連するエレクトロニクス・情報通信の分野では、デジタルカメラは引き続き従来のフィルムカメラからのシフト等により好調を維持しました。また、携帯電話についても、カメラ付きの機種が市場を牽引し、需要は堅調に推移しました。一方、パソコンは引き続き回復力が鈍く、前年同月比でのマイナス幅は拡大し低調でした。

このような経営環境の中で、当社では旺盛なデジタルカメラ需要を背景に、デジタルスチルカメラ(DSC)、デジタルビデオカメラ(DVC)などにキーデバイスとして搭載されるCCD(電荷結合素子)、L-LCD(低温ポリシリコン液晶表示装置)の販売が好調に推移しました。また、プロジェクター用LCD、レーザービームプリンター用及びゲーム機用レーザーダイオードも最終製品の需要増等により売上が拡大しました。DVDプレーヤー用DRAMではシェアアップにより売上が伸長しました。さらに、中国で拡大しているPHS販売を背景に、MMIC(モノリシックマイクロ波集積回路)の売上が見込を大幅に上回りました。

その結果、当第1四半期の連結売上高は27,499百万円、経常利益は235百万円、当期純利益は77百万円と順調なスタートとなりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
16年3月期第1四半期	49,544 ^{百万円}	3,457 ^{百万円}	7.0%	293 ^円 32 ^銭
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	47,617	3,409	7.2	289 23

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
16年3月期第1四半期	1,667 ^{百万円}	63 ^{百万円}	2,726 ^{百万円}	2,342 ^{百万円}
15年3月期第1四半期				
(参考)15年3月期	703	2,012	2,628	3,432

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、2,342百万円となり、前連結会計年度に比べて1,090百万円減少しました。これは財務体質の改善を図るため、有利子負債の削減を優先させているためです。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,667百万円となりました。これは主に運転資金の効率的運用を図ったためであり、仕入債務の増加4,456百万円が、売上債権の増加2,365百万円及び在庫の増加814百万円を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は63百万円であり、主に固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務体質の改善を図るため、積極的に有利子負債の削減に努めました結果、2,726百万円の減少となりました。

この結果、有利子負債の残高は19,956百万円（前連結会計年度末22,572百万円）となり、総資産に対する比率も40.3%と前連結会計年度末と比べて7.1%改善しております。

(参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
16年3月期第1四半期	21,155 ^{百万円}	364 ^{百万円}	345 ^{百万円}	176 ^{百万円}

	総資産	株主資本
16年3月期第1四半期	39,444 ^{百万円}	5,808 ^{百万円}

3. 平成 16 年 3 月期の連結業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり予想当期純利益	
	百万円	百万円	百万円	円	銭
中間期	56,000	420	210	17	81
通期	115,000	1,200	530	44	95

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

〔業績予想に関する定性的情報等〕

第 1 四半期の結果を踏まえ、今後も旺盛なデジタルカメラ需要が見込まれることなどから、平成 16 年 3 月期の中間期及び通期の当初予想を修正いたしました。

(参考 2) 平成 16 年 3 月期の個別業績予想（平成 15 年 4 月 1 日 ~ 平成 16 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
	百万円	百万円	百万円	円	銭	円
中間期	44,000	400	200			
通期	89,000	1,050	500		10 00	10 00

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上

添付資料

- ・ 四半期連結（要約）貸借対照表
- ・ 四半期連結（要約）損益計算書
- ・ 四半期連結（要約）キャッシュ・フロー計算書
- ・ セグメント情報

四半期連結(要約)貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	当連結第1四半期 (平成15年6月30日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(資産の部)		%		%
流動資産				
1.現金及び預金	2,492		3,582	
2.受取手形及び売掛金	32,116		29,552	
3.たな卸資産	6,333		5,518	
4.その他	5,242		5,241	
5.貸倒引当金	7,357		7,356	
流動資産合計	38,827	78.4	36,538	76.7
固定資産				
1.有形固定資産	6,455		6,581	
2.無形固定資産	648		654	
3.投資その他資産				
(1)投資有価証券	1,634		1,758	
(2)その他	2,161		2,266	
(3)貸倒引当金	182		182	
投資その他の資産合計	3,613		3,842	
固定資産合計	10,717	21.6	11,078	23.3
資産合計	49,544	100.0	47,617	100.0

(単位：百万円)

科 目	当連結第1四半期 (平成15年6月30日)		前連結会計年度 (平成15年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%
・流動負債				
1. 支払手形及び買掛金	24,592		20,132	
2. 短期借入金	10,754		13,143	
3. 一年内償還予定社債	300		300	
4. 一年内返済予定長期借入金	1,992		852	
5. 賞与引当金	114		192	
6. その他	866		709	
流動負債合計	38,622	77.9	35,330	74.2
・固定資産				
1. 社債	1,200		1,200	
2. 転換社債	4,956		4,956	
3. 長期借入金	752		2,120	
4. 退職給付引当金	48		39	
5. その他	507		560	
固定負債合計	7,464	15.1	8,876	18.6
負債合計	46,087	93.0	44,207	92.8
(少数株主持分)			-	
少数株主持分				
(資本の部)				
・資本金	4,325	8.7	4,325	9.1
・資本剰余金	1,520	3.1	4,137	8.7
・利益剰余金	2,163	4.4	4,857	10.2
・その他有価証券評価差額金	211	0.4	167	0.3
・為替換算調整勘定	10	0.0	25	0.1
・自己株式	3	0.0	3	0.0
資本合計	3,457	7.0	3,409	7.2
負債、少数株主持分及び資本合計	49,544	100.0	47,617	100.0

四半期連結(要約)損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当連結第1四半期 〔自 平成 15 年 4 月 1 日〕 〔至 平成 15 年 6 月 30 日〕		前連結会計年度 〔自 平成 14 年 4 月 1 日〕 〔至 平成 15 年 3 月 31 日〕	
	金 額	百 分 比	金 額	百 分 比
		%		%
・ 売 上 高	27,499	100.0	101,055	100.0
・ 売 上 原 価	25,976	94.5	95,090	94.1
・ 売 上 総 利 益	1,523	5.5	5,965	5.9
・ 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	1,235	4.5	4,922	4.9
・ 営 業 利 益	287	1.0	1,042	1.0
・ 営 業 外 収 益	73	0.3	585	0.6
・ 営 業 外 費 用	125	0.4	1,103	1.1
・ 経 常 利 益	235	0.9	524	0.5
・ 特 別 利 益	11	0.0	6	0.0
・ 特 別 損 失	31	0.1	3,384	3.3
税金等調整前四半期純利益又は当期純損失	215	0.8	2,853	2.8
・ 法 人 税 等	138	0.5	431	0.4
・ 少 数 株 主 損 失			38	0.0
四半期純利益又は当期純損失	77	0.3	3,246	3.2

四半期連結(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	当連結第1四半期 〔自 平成 15 年 4 月 1 日〕 〔至 平成 15 年 6 月 30 日〕	前連結会計年度 〔自 平成 14 年 4 月 1 日〕 〔至 平成 15 年 3 月 31 日〕
. 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期純利益又は当期純損失		215	2,853
減価償却費		176	670
貸倒引当金の増加額		0	3,003
受取利息及び受取配当金		15	152
支払利息		87	352
売上債権の増減額		2,365	950
たな卸資産の増減額		814	1,195
仕入債務の増減額		4,456	1,518
その他の		70	649
小計		1,811	997
利息及び配当金の受取額		15	228
利息の支払額		112	368
法人税等の支払額		46	153
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,667	703
. 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出		24	502
無形固定資産の取得による支出		29	143
投資有価証券の取得による支出		0	404
その他の		9	960
投資活動によるキャッシュ・フロー		63	2,012
. 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の減少額		2,497	4,440
長期借入れによる収入			1,000
長期借入金の返済による支出		228	652
社債の発行による収入			1,468
その他の		0	3
財務活動によるキャッシュ・フロー		2,726	2,628
. 現金及び現金同等物に係る換算差額			
		10	41
. 現金及び現金同等物の減少額			
		1,132	3,978
. 現金及び現金同等物の期首残高			
		3,432	7,410
. 連結子会社増加に伴う現金及び現金同等物の増加額			
		42	
. 現金及び現金同等物の期末残高			
		2,342	3,432

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前連結会計年度（自平成 14 年 4 月 1 日至平成 15 年 3 月 31 日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高および営業利益の金額とも全セグメントの 90% 超となっております。
このため事業の種類別セグメント情報の記載の省略しております。

第 1 四半期連結会計年度（自平成 15 年 4 月 1 日至平成 15 年 6 月 30 日）

当連結グループは、電子部品の販売を主事業としている専門商社であり、主要な一セグメントの売上高および営業利益の金額とも全セグメントの 90% 超となっております。
このため事業の種類別セグメント情報の記載の省略しております。

【所在地別セグメント情報】

最近 2 連結会計年度の所在地別セグメント情報は次のとおりであります。

前連結会計年度（自平成 14 年 4 月 1 日至平成 15 年 3 月 31 日）（単位：百万円）

	日本	アジア	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	83,057	17,998	101,055		101,055
(2)セグメント間の内部売上高	4,209	2,465	6,675	(6,675)	
計	87,267	20,463	107,730	(6,675)	101,055
営業費用	86,384	20,314	106,699	(6,686)	100,012
営業利益	882	149	1,031	10	1,042

（注）1．地域は、地理的近接度により区別しております。

2．地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

当連結第 1 四半期（自平成 15 年 4 月 1 日至平成 15 年 6 月 30 日）（単位：百万円）

	日本	アジア	計	消去又は全社	連結
・売上高及び営業損益					
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	23,073	4,426	27,499		27,499
(2)セグメント間の内部売上高	745	499	1,245	(1,245)	
計	23,819	4,926	28,745	(1,245)	27,499
営業費用	23,507	4,953	28,460	(1,248)	27,212
営業利益又は営業損失()	311	27	284	3	287

（注）1．地域は、地理的近接度により区別しております。

2．地域の内訳は次のとおりであります。

アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国

【海外売上高】

最近2連結会計年度の海外売上高および連結売上高に占める海外売上高の割合は次のとおりであります。

前連結会計年度（自平成14年4月1日至平成15年3月31日）（単位：百万円）

	アジア	その他	計
・ 海外売上高	16,949	1,111	18,060
・ 連結売上高			101,055
・ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.8	1.1	17.9

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区別しております。
 2. 地域の内訳は次のとおりであります。
 アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国
 その他・・・米国他
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

当連結第1四半期（自平成15年4月1日至平成15年6月30日）（単位：百万円）

	アジア	その他	計
・ 海外売上高	4,649	195	4,845
・ 連結売上高			27,499
・ 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	16.9	0.7	17.6

- (注) 1. 地域は、地理的近接度により区別しております。
 2. 地域の内訳は次のとおりであります。
 アジア・・・東アジアおよび東南アジア諸国
 その他・・・米国他
 3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。